

カンボジアひろしま
ハウス建設運動

カンボジアは、内戦終結後、復興途上にあります。同じく廃墟から復活した広島市民が、カンボジアに何かできないか、ということから始まったプロジェクトは、カンボジアと日本が協力した、深い味わいのレッドカレーになりました。

一粒一粒おいしいご飯
一人ひとりの思う心

具とごはんをつなぐ
ココナッツミルクの
カレールー
人々の思いと資金を
つなぎ建物が完成

カレー材料積み上げて
じっくり煮込むルー作り
建築資金積み上げて
復興助けるハウスづくり

カンボジアひろしまハウス建設運動

カンボジアと日本の
カレープロジェクト
カンボジアと日本の
カレープロジェクト

ひろしまカンボジア市民交流会
活動分野:国際交流
発足年:平成6年(1994年)

何でもありの建設資金

平成6年に開催された第12回アジア競技大会広島1994がきっかけで「ガンバレ・カンボジアプロジェクト広島支部」が発足しました。資金集めに広島フーラーフェスティバルでカレーショップを開き、アジア大会にカンボジア選手を招く手助けをしました。

その後「ひろしま・カンボジア市民交流会」が発足し、カンボジアとの交流を引き継ぎ、ひろしまハウスの建設運動がはじまりました。問題は何といつても建築資金でした。

数千万という資金が必要なプロジェクトです。当初から見込みがあったわけではなく資金が集まったら、建築するところから資金をいただきました。弁当にカレーを選んだのも、いろいろな所から集めた資金を様々な具材になぞらえているからです。

カンボジアひろしまハウス1階部分は、ウナローム寺院の渋井修師氏を中心とした募金によりできています。また2階、4階部分については、広島を中心に全世界で行った募金活動の資金でできています。

カンボジアひろしま

ハウスの今

寄付やカレーショップの収入をもとにしていますが、出したのはお金だけではありません。実際、日本から多くの人が直接

カンボジアに出向き、建物のレンガ積みを行うなどして汗を流したのです。

そして平成18年にハウスは完成しました。宿泊所や料理教室、資料館、木工研修所、図書館として使えるよう多目的に作られましたが、実際、どのように運営していくかは皆の総意で決まりました。誰でも様々な形で交流できる作りだす平和のためのハウスとして育てていく予定です。

カレーを形作るごはんは人々の思いです。そこに資金という具材が加わり、ルーであるカンボジアひろしまハウスにスパイス一杯の運営アイデアを加え、味をぐっと引き締める。それがカンボジアハウスの特製レッドカレーです。

多くの人々の思い

ハウスは多くの人々の力とネットワークで作られています。

アジア大会にカンボジア選手が参加できるようにプロジェクトを始めた人、それに賛同してフーラーフェスティバルでカレーショップを開いて募金した人々、プロジェクトを引き継ぎ今に至るまで交流を進めている「ひろしまカンボジア市民交流会」の皆さん、寺院敷地内の土地の貸借交渉や、1階部分建築の主導者であるウナローム寺院僧侶(当時)渋井修さん、計画に賛同した建築家、大学生、その他、日本中、ドイツ、フランス、アメリカの世界中の人たちが協力してくださっています。

発足のいきさつ

内戦が終わったカンボジアがアジア大会に参加できるよう「ガンバレ・カンボジアプロジェクト広島支部」が発足しました。プロジェクトは、カンボジアの地雷を撤去して作ったマラソンコースの選手選考会にも協力しました。

戦後復興中のカンボジアが復興した広島のアジア大会に参加するということは、ひとつのシンボルとなりました。カンボジアの選手がマラソン競技に参加して完走し、市民に感動を与えました。

平成6年12月からは、プロジェクトを解散して、「ひろしま・カンボジア市民交流会」が発足。カンボジアとの交流を引き継ぎました。

建設始まる！

平成7年7月、カンボジア・ブノペン市のウナローム寺院の僧侶（当時）渋井修さんを広島に迎え、カンボジア講座を開催しました。これをきっかけとして、「市民交流の家計画」について、渋井さんにウナローム寺院と敷地について交渉してもらうこととなりました。

交渉の結果、敷地は180坪を借りることができるようになり、基礎～1階の研修所部分の工事が着工され、翌年6月に完成しました。

平成7年10月には、カンボジア仏教会会長であるウナローム寺院のトップ・ポーン大僧正にも広島に来ていただき、市長に表



敬訪問をされました。

建築家の協力

広島市主催「ひろしままちづくり未来大学」で石山修教授（早稲田大学）が講演に来られた際、「市民交流の家計画」に賛同され、協力していただきました。

翌月（平成8年3月）には、2～3階部分の基本計画案をいただきました。11月には、カンボジアにおいて、2～3階の起工式を行いました。

また、カレーショップでの募金で購入した8トンのコメを9月の大水害の被災地に届けました。

カンボジアひろしまハウス竣工

カンボジアひろしまハウスが平成18年11月24日にとうとう竣工しました。出来上がった建物を運営するため規約や組織の変更が提起され、新規約で「ひろしまカンボジア市民交流会」と「」を除き、改称しました。

ウナローム寺院の仏教会会長と15年契約を調印（平成19年4月）し、NGOの日本語学校の生徒が管理人となつて、ハウスは開館しました。

NPOを支えるまかない弁当

特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター

ひろしまNPOセンターは、NPOを支援するNPOです。

そこで、お弁当は、

料理のプロが食べる「賄い」としました。

メニューは、広島ならではの「お好み焼き」。

支援しているNPOに

いろんな食材を提供し、

ひろしまNPOセンターは

その残り食材で上手に

お好み焼きを焼き上げます。

生地は、大きく広く、

広島NPOのネットワーク。

肉な活動もソバな活動も

やさしく包み込みます。



新しい味に挑戦
唐辛子
刺激を受けて
活動で汗かこう



豚バラ肉ー
たっぷり入れて
広島NPO
元氣モリモリ

大きく
広がる生地
活動を
やさしく
包み込みます

そばー
隅々に長く
つながる情報網

キャベツ大盛
おいしさの決め手
キャベツの甘味を
引き出します

広島を賑わす
まちづくり

弁当 15

NPO法人
ひろしまNPOセンター

特定非営利活動法人
ひろしまNPOセンター

活動分野:NPOの運営活動に関する助言・援助
発足年:平成11年(1999年)

連絡先:広島市中区八丁堀3-1 幟会館2階

電話 (082)511-3180

HP <http://www.npoc.or.jp> Email info@npoc.or.jp

広島を賑わす
まちづくり

当たら 15

NPO法人
ひろしまNPOセンター

新しい味に挑戦 トッピング開発 調査・研究

NPO/NGO法・税制度改革研究会を開催。優遇税制やNPO法改正問題等に取り組んでいます。その他、NPOに関係する生涯学習、公共交通、まちづくり、アート、フリーター、コミュニティビジネス、国際貢献、環境保全、企業のCSRなどの調査研究を行っています。

豚バラ肉たっぷり入れて広島 のNPOを元気にサポート 事業

資金的支援として①ひろしまNPO活動奨励賞 ②ろうきんNPO寄付システム ③ひろしまNPOサポート倶楽部 による助成金を配分しています。5年間で延べ150団体、1000万円を助成してきました。またNPO相談会を実施しています。この10年あまり、立ち上げや運営相談など200法人の立ち上げ、運営にかかわってきました。相談件数は2000件を超えています。

隅々に長くつながる、ソバ情報 収集・提供

ホームページで、県内700団体のボランティア活動情報、530余りのNPO法人情報、助成金情報、NPO関連法律の

状況などお伝えしています。また、情報誌も発行しています。

キャベツ大盛、おいしさの決 め手！啓発・研修事業

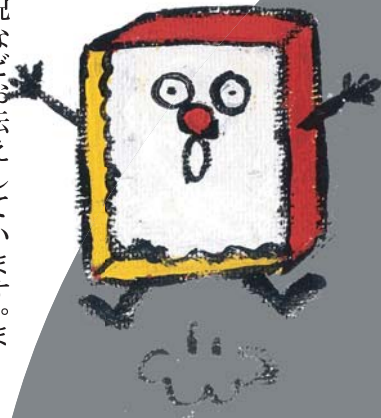
福山市、三原市、呉市、廿日市、広島市などで、NPO理解講座、会計セミナー、コミュニティビジネスセミナー、などの研修や講座を開催、NPOの担い手人材育成にも力を入れています。大学生のインターンシップの受け入れも行っています。

大きく広がる生地、 ネットワーク事業

環境バイオマスネットワーク、市民福祉ネットワーク、災害ボランティアネットワークなどのネットワークづくりや、地域分野を問わないNPO/NGOのネットワークづくりに取り組んでいます。行政との協働や企業、労働組合などとのネットワークなど、他セクターとの連携にも取り組んでいます。

共同事務所運営

事務所を持ちたい団体に共同事務所を提供しています。入居団体のネットワークもでき、さまざまな共同事業も興ってきました。40団体が入居し、巣立っていかれています。



NPO for NPO

発足のいきさつ

平成9年市民活動促進法をつくらうと「ひろしまNPOセンター」を立ち上げ、全国のメンバーと署名活動や国会議員への要請、勉強会を開催し、翌年平成10年、名称は「特定非営利活動促進法」と変わったものの法制定にこぎつけ、早くも11年立ちます（法律ができて10年）。

NPO法人も広島県内で530法人を超えました。広島市内にはそのほぼ半数の270団体もの法人が活動しています。ボランティア団体・市民活動団体のアンケート調査で、各団体の抱える問題を調べたところ、「人・モノ・金・情報」という答えはここ10年かわってはいません。

取り巻く環境の変化はめまぐるしいものがありますが、団体の環境整備が追いついていない状況です。

「ひろしまNPOセンター」は、NPOの基盤強化を目的に、活動を展開していきます。